

平成30年度全国高等学校総合体育大会
第98回全国高等学校ラグビーフットボール大会

山梨県予選実施要項

- 主催 山梨県教育委員会・山梨県高等学校体育連盟
- 主管 山梨県高等学校体育連盟ラグビー専門部・山梨県ラグビーフットボール協会
- 後援 (公財)山梨県体育協会・毎日新聞社甲府支局・(株)テレビ山梨
- 1 期 日 平成30年10月20日(土)～11月11日(日)
- | | | |
|--------|-----------|----------------|
| 開会式 | 10月20日(土) | 9:30～ |
| 競技 1回戦 | 10月20日(土) | 11:15～ |
| 2回戦 | 10月27日(土) | 11:00～ |
| 準決勝 | 11月3日(土) | 11:00～, 13:00～ |
| 決勝 | 11月11日(日) | 13:05～ |
| 表彰式 | 11月11日(日) | 14:15～ |
- 2 会 場 御勅使南公園ラグビー場A面(開会式は雨天の場合でも集合)
- 3 競技規則
- (1) 日本ラグビーフットボール協会制定の2018年競技規則に拠る。
 - (2) 試合時間は30分ハーフとし、ハーフタイムは5分以内とする。
 - (3) 試合時間中に勝敗が決まらない場合は引分けとし、次回戦への出場チームは以下の方法で決定する。(P・Tはトライ数に数えるがゴール数には数えない)
 - ① トライ数の多いチーム。
 - ② トライ数も同数の場合にはP・T数の多いチーム。
 - ③ P・Tも同数の場合はゴール数の多いチーム。
 - ④ 上記で決定できない場合は、抽選で決める。
 - (4) シンビンは7分間とする。
 - (5) 試合に出場する選手は、マウスガードを装着すること。
(試合直前にアシスタントレフリーが確認する。)
 - (6) 雷雲が確認される、あるいは、雷鳴が聞こえるなどの場合は、競技を即刻停止し、大会関係者全員が安全な場所へ避難する。その後、レフリー、両監督、事務局の4者で協議し、天候の状況、大会の位置付け、試合経過状況等を総合的に判断し試合成立・試合不成立での中止・再試合などのいずれかの決定をする。
 - (7) その他不測の事態が生じた場合は、専門部役員で裁定する。
 - (8) 選手入れ替えについて、フロントロー3名、その他のプレーヤー5名、合計8名まで選手の交代・入れ替えができる。
- 4 競技方法
- (1) 試合はトーナメント勝抜法により優勝チームを決定する。
 - (2) 試合組み合わせは、各出場校主将による抽選で決定する。
 - (3) 決勝戦で勝敗が決まらない場合は、双方を優勝とする。ただし、全国大会への出場チームについては、上記3の(3)によって決定する。
- 5 参加資格
- (1) 参加チームは学校教育法に定める高等学校に所属するチームで、山梨県高等学校体育連盟ならびに山梨県ラグビーフットボール協会に加盟していること。
 - (2) 全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
 - (3) 参加選手の資格は、校長が学業、身体、人物など適当と認めたもので、次の諸項に該当する者であること。
 - ア (公財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録をしている者。
 - イ 年齢は、平成11年4月2日以降に生まれた者とする。
ただし、出場は、同一競技3回までとし、同一学年の出場は1回限りとする。
 - ウ 転校後6ヶ月未満のもの参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)
ただし、一家転住等やむを得ない場合は、山梨県高等学校体育連盟会長の認可が必要である。
 - (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - (5) 留学生の出場について
 - ア 卒業を目的とした留学生に限る。
 - イ 出場できる人数は2名までとする。

- (6) (公財)日本ラグビーフットボール協会の「日本協会 選手・役員規定」に違反する者は参加できない。
- (7) その他、参加資格に疑義がある場合は、実行委員会で裁定する。
- (8) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)に定めるチームの生徒以外で、(2)～(6)の大会資格を満たし、かつ、山梨県高等学校体育連盟が推薦する生徒を別途定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(3)イの但し書きについては、各学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、3回限りとする。

「大会参加資格の別途に定める規定」

- 1 学校教育法第72条、115条、124条、135条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア 全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、都道府県高体連の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失わず、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

- 6 罰 則
 - (1) 資格を偽った者、参加資格のない者が参加した場合は、そのチームを大会より除名し、次回大会の参加も認めない。なお、この場合は、事態発見のときの相手チームを勝者とし、それ以前のものには触れない。
 - (2) その他、スポーツマンシップに反する行為があった場合は前項に準ずる。
 - (3) 参加チームは所属学校その他関係ある応援団の行為についても責任を負うものとする。
- 7 表 彰 優勝および上位チームを表彰する。
- 8 参加手続 参加チームの編成は30名以内とし、所定の申込書1通を組み合わせ会議において事務局に提出する。(試合のメンバー表は、25名以内とする。) 但し申込書提出後、負傷その他の事由により選手を変更する場合は、メンバー変更申請書を実行委員会に開会式開始までに届出て、その承認を受けること。
- 9 健康管理 大会参加に当たっては、あらかじめ健康診断を受けさせる等、選手の健康管理および安全対策に十分留意する。
- 10 その他
 - (1) 原則として、2回戦までは、ボールボーイ3名・キックティー係1名・給水係3名を各校で出し、会場係についても指定された各校で出す。
 - (2) 各校の顧問教師は、選手および応援団の会場の使用ならびに応援のマナーについて指導を徹底する。
 - (3) 会場の準備は第一試合の両チームが行い、試合終了後の片付けおよび清掃は最終試合の両チームが行う。
 - (4) 優勝・準優勝チームは、各々今年度関東新人大会県予選の第1・第2シード権を獲得する。

大会運営に関する連絡先 委員長 岡 昌 宏
 (吉田高校 0555-22-2540)
 事務局 山 下 峻
 (富士河口湖高校 0555-73-2511)